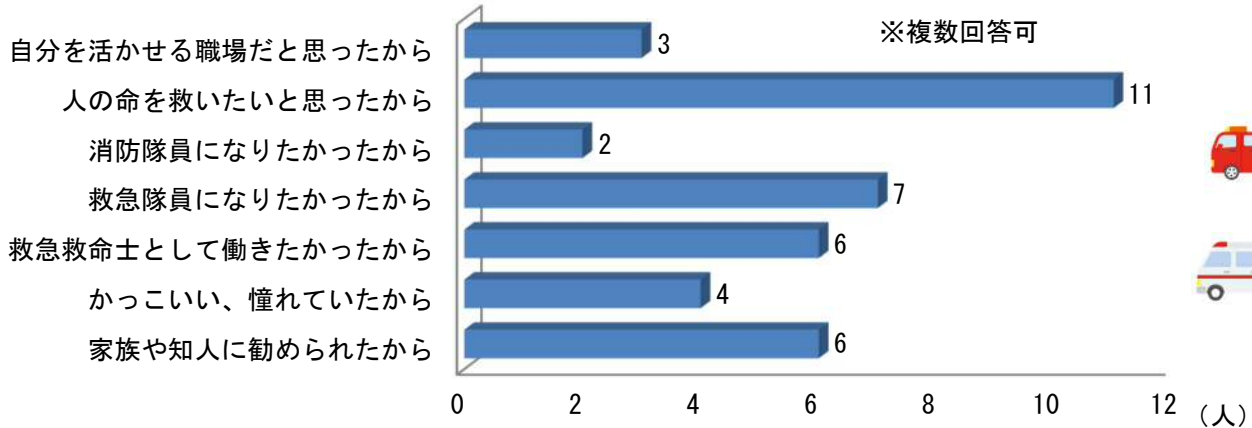


あなたを
活かす場所
ここにある。

女性職員に聞きました。 就職時、どうだった？

(女性職員のうち、長期休暇中等を除く)

志望理由はそれぞれ・・・



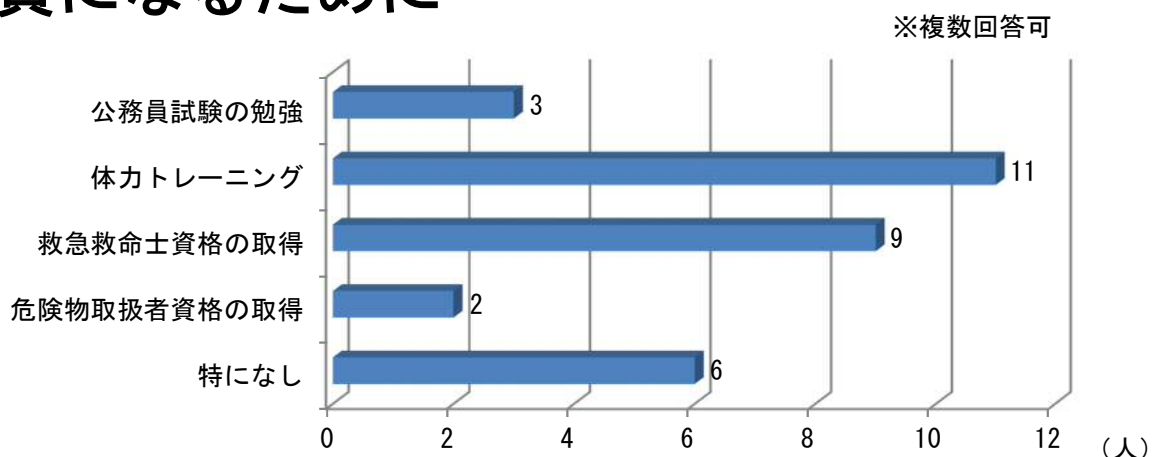
高い志を持って消防を目指し、具体的な希望業務を持って志望した者、「人の命を救いたい」という熱い気持ちで志望した者、人に勧められて志望した者など、理由は様々です。



【女性職員からのコメント】

- ・病気やケガ人に対し、現場で一番初めに対応する救急救命士になりたいと思いました。
- ・生まれ育った浜松市のために働きたいと考えた志望しました。
- ・学生時代の職場体験で出会った女性の救急救命士に憧れ、救急現場で自分の力を使いたいと思い救急救命士になり、消防士になりました。

消防職員になるために



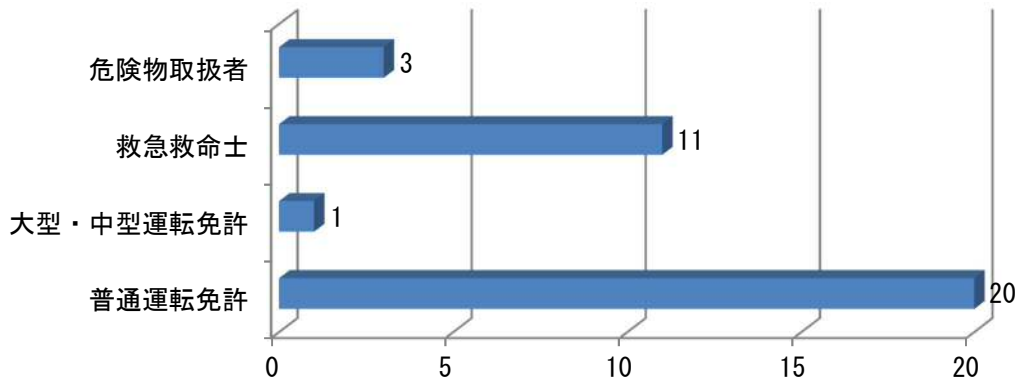
採用前に努力したことは、人それぞれ。
資格の取得は、職員になってからでも遅くありません。

あなたを
活かす場所
ここにある。

女性職員に聞きました。 就職時、どうだった？

(女性職員のうち、長期休暇中等を除く)

何の資格を持っていた？



ほとんどの者が普通運転免許を持っていて、大学や専門学校で救急救命士の養成課程を受けた者が救急救命士資格を持っていました。

消防は災害現場では、消防車や救急車がなければ活動できません。そのため、大型・中型運転免許は採用後に、担当業務に合わせて、補助を受けて取得している者が多いです。その他、危険物取扱者資格の一部は県消防学校のカリキュラムで取得したり、救急救命士の資格は研修派遣を経て取得する方法もあります。

